



サイバースマートシティ創造協議会（MCSCC）からの
スピンオフ法人「日本アグテック合同会社」の設立について

2021年8月27日

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会（旧名称：一般社団法人益田サイバースマートシティ創造協議会。以下「MCSCC」という。2018年10月29日設立）は、IoT／センサー等の技術を活用したサイバー空間とリアル空間の融合を通じ、人々がより健康で、より環境に負荷をかけずに暮らせるスマートシティの創造を目的として各種のプロジェクトを行っているところです。

MCSCC は、地域での実証で確立した技術について、自らビジネス展開を行うのではなく、その技術を有する企業の事業化支援を行う立場にあります。このたび、島根県益田市で実証を行ってきた技術について事業化を進めるため、次のような法人を設立しました。

日本アグテック合同会社の設立

- MCSCC の会員企業である株式会社末松電子製作所（熊本県八代市川田町東34-1：末松謙一代表取締役）、キュレーションズ株式会社（東京都港区広尾1-3-18広尾オフィスビル11F：根本隆之代表取締役）及びアーキテクトグランドデザイン株式会社（東京都港区東麻布1-7-7-3F）のファウンダー豊崎禎久氏は、2021年8月2日、「日本アグテック合同会社」を長崎県長崎市に設立した（長崎市江戸町5-8-5F）。
- MCSCC は、鳥獣害対策の電気柵で我が国の市場シェア3割を占める株式会社末松電子製作所の機器にLPWAとセンサーを統合した装置を取り付け、島根県益田市の農家の協力を得てIoT電気柵の実証実験を行ってきた。電気柵の課題である植物の繁茂による電圧低下箇所を特定し、草刈り等の効率化と電気柵の機能の十分な発揮を目指したもので、これまで、極めてよい結果が得られてきた。
- 今般、この電気柵をはじめとする農村型スマートシティ技術や人工知能等を活用した農業支援技術の開発・販売・管理、さらにはこれらを活用したコンサルティングを行う企業を設立し、実証結果を広く社会に還元・展開していくこととするものである。
- 長崎県長崎市には MCSCC のFIWAREデータセンターを設置し、この8月から稼働を始めたところであり、またMCSCCの会員企業と連携してスマートビレッジの整備が進められている。MCSCC としては、日本アグテック合同会社がこれらのアセットも活用しながら事業化を進めていくことを支援していく。
- なお、日本アグテック合同会社の代表社員には株式会社末松電子製作所（職務執行者：末松謙一同社代表取締役）が就任した。

<お問い合わせ>

一般社団法人サイバースマートシティ創造協議会

グローバルハットクォーター：東京都港区東麻布1-7-7-3F AGD内

<https://matrix-cyber.org/>

contact@matrix-cyber.org